

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6023	(H.24)No.	6023
-----------	------	-----------	------

事務事業名		公平委員会費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
公平委員会事務局		公平委員会事務局		山口正治	63-7838
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度	~	平成	年度

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施策	2	効果・効率的な市政
	小施策	1	人事・定員管理の適正化
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	027001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	公平委員会費	
項	総務管理費	(小事業名)	
目	公平委員会費	公平委員会費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
職員にかかる不利益処分に対する不服申立て及び勤務条件に関する措置要求に対して裁決・判定を行う。	

めざす効果(事業目的)	
第三者機関による公平審査により人事行政の公正さを確保できる。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審査、措置要求に関する審査等)	[事業内容(事業量)・事業費] 公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審査、措置要求に関する審査等)	補助金・交付金	その他 ( 独立した行政機関として実施 )	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審査、措置要求に関する審査等)	公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審査、措置要求に関する審査等)	公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審査、措置要求に関する審査等)
<b>直接事業費</b>	<b>514千円</b>	<b>398千円</b>	<b>400千円</b>	<b>400千円</b>	<b>400千円</b>
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他( )				
一般財源	(0) 514	398	400	400	400
人工数	職員	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人
	臨時職員等				
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 2,920千円</b>	<b>2,920千円</b>	<b>2,920千円</b>	<b>2,920千円</b>	<b>2,920千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 3,434千円</b>	<b>3,318千円</b>	<b>3,320千円</b>	<b>3,320千円</b>	<b>3,320千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	41.0
	実績		39.2	42.9	43.6	42.7	
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
不服申立て等の公平審理事案なし。	職員にかかる不利益処分に対する不服申立て及び勤務条件に関する措置要求に対して裁決・判定を行う。引き続きよりよい成果を得られるよう努める。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
不服申立て等があった場合は人事行政の公平さを確保するため、日頃の研修等で公平審理の資質の向上を図っていく必要がある。	

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか <input type="checkbox"/> 検討余地がある	研修などにより研鑽を積み、専門性をより高めていく。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる <input type="checkbox"/> 検討余地がある <input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる <input type="checkbox"/> 検討余地がある <input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み <input type="checkbox"/> 反映を予定 <input type="checkbox"/> 反映予定なし(該当しない) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか <input type="checkbox"/> 検討余地がある	ある程度の専門性のある研修会や情報収集等をすすめ、公平審理のスキルアップを図る。

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) <input type="checkbox"/> 継続(現行) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(拡大) <input type="checkbox"/> 休止・廃止検討 <input type="checkbox"/> 事業完了(完了予定含む) <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
引き続き、基本目標を視点に審理を行う。

特記事項
公平審理業務は非常勤の公平委員により審理が行われる。業務の趣旨から評価の視点がなじまない部分がある。